

## 自宅での吸入器使用にあたっての注意点

- ・ **吸入液は2種類です**
  - メプチン吸入液（青のアンブル）：気管支拡張剤です。0歳児は1回3滴、1歳以上は1回4滴でお使いください。
  - インタール吸入液（白のアンブル）：抗アレルギー薬です。全量お使いください。吸入を嫌がるお子さんの場合、吸入時間短縮のため、全量の2/3程度にしてもかまいません。
    - ☆ 全量を吸入すると6～7分、2/3量にすると4～5分かかります。
- ・ **吸入の効果は約15～20分で現れ、5～6時間で効果が切れます**
  - 吸入から6時間以上経過して症状がぶり返している場合、薬剤の効果が薄れていきますので、再吸入可能です。
- ・ **吸入回数は1日1～2回で、必ず吸入間隔は6時間以上あけてください**
  - 1回の吸入で5～6時間の効果があるので、2回吸入すればお子さんが寝る時間を十分カバーできます。病院受診の遅れを防ぐため、原則として日中は自宅で吸入させないでください。一般的に喘鳴発作は夜間に増悪しますので、日中に呼吸苦があり気管支拡張薬の吸入が避けられない場合、日祝日は休日診療所などを時間外受診してください。同様に夜間に吸入後、呼吸苦のため次の吸入まで6時間が待てない場合、自宅で再吸入することなく夜間診療所か救急病院を受診してください。
- ・ **嫌がっても吸入させてください。**
  - 吸入を嫌がるお子さんも多いですが、5分前後だけ頑張って吸入させてください。
  - 小さいお子さんだと、夜間に初めて吸入すると機械音を怖がってしまうこともあります。機嫌のいいときにあらかじめ薬液なしで作動させて、音にならしておくのも一手です。どうしても音が苦手な場合、音が静かなタイプの吸入器（持ち運びには不便ですが）もごございますのでお申し出ください。
- ・ **2泊以上レンタルされる場合、症状の改善がみられれば2泊目以降必ずしも吸入の必要はありません。**
  - 喘鳴発作は1、2晩で改善に向かうことが多いです。気管支拡張剤の目的はあくまでも一時的に症状を抑えるためです。吸入器の貸出日当日は吸入の必要性が高いので原則として吸入器を使用してください。翌日以降は症状が改善し入眠困難がなければ、吸入の必要がないかもしれません。**吸入せずに観察してみてください。**夜中に症状の悪化があつてつらそうなら吸入を行い、吸入しなくても一晩を乗り切れたら、その翌日に吸入器をご返却いただけます。

さかたこどもクリニック院長(2010/11/09)